

京都学園大学「京學堂」 京フルーツプロジェクト

活動場所：右京区京都学園大学太秦キャンパス常設店舗

活動時期：平成 22 年 3 月～

発表団体

京都学園大学 経済経営学部
学生チャレンジショップ「京學堂」



連携メンバー

経済経営学部教員チーム
授産施設
バイオ環境学部
外部出店

活動内容

本事業の対象地域である宕陰（とういん）地区は、右京区北西部に位置し、「にほんの里 100 選」にも選ばれた美しい景観や自然環境に恵まれている地域である。一方で、少子高齢化が進み、主要産業である農業の後継者不足や地域コミュニティの維持等が深刻な課題となっている。

本事業では、地域が期待する移住者増加と地元での雇用の場の創出につなげることを大きな目標とし、まずは地域の知名度向上を図るため、京都学園大学学生チャレンジショップ「京學堂」や学内外でのイベント・ショッピングモール等での特産品の販売を行っている。また、地域との交流を深めるため、地域でのボランティア活動などに積極的に取り組んでいる。

2017 年度は、伏見区のショッピングモールや右京区ふれあいフェスティバルに出店し、宕陰地区の特産品を販売するとともに、宕陰地区の知名度調査を行った。また、昨年度に引き続き、宕陰小中学校での運動会に参加し、ともに後片付けなどを行い、地域住民との交流を図っている。

取組の成果・活動で工夫した点

これまで 2 年間にわたり、宕陰地区の特産品を「京學堂」やイオンなどの外部出店で販売を行ってきたが、地元から「ただ仕入れて販売するだけでなく、地域を巻き込んでのイベントを開催するなど、地域を盛り上げていく仕掛けをつくってほしい」というご意見を頂いた。宕陰小中学校で行われた運動会への参加や、京都学園太秦キャンパスで開催した「越畑ウィーク」では交流施設「フレンドパークまつばら」で提供されている十割そばの実演販売を行った。その際、宕陰地区をより知ってもらうために宕陰の四季折々の風景などの写真を展示した。

連携メンバー・役割

経済経営学部教員チーム	授業の一環として学生チャレンジショップ「京學堂」の運営を行っており経済経営学部教授がサポートを行う
授産施設	第三かめおか、あじさい園、かしのき学園などの授産施設連携を行い商品開発など積極的に行う
バイオ環境学部	地域や商品開発に関して連携を行う
外部出店	京都ファミリーやイオン、MOMOテラスなどに外部出店を行い宕陰地区などの知名度向上を行う

今後の課題・目標

◆今後の課題

今後の課題としてプロジェクトのメインとなる宕陰地区で収穫されるフルーツ（リンゴやブドウ）を使った新商品の開発を授産施設などと協力していく事である。

商品開発には、摘果された実や落ちてしまった実を使用する予定だが、加工する際に使える部分が少なく、甘みがないため、どのような商品にするか検討中である。

また、ただ商品を作るだけではなく商品の P R や販売方法など経営学部で学んだノウハウを使うことで地域の人達に知ってもらうための活動が必要である。

◆目標

活動の中心である宕陰地区で収穫されるフルーツを使った新商品の開発を行う。バイオ環境学部との連携による商品開発チームを 10 月に発足し、今後商品開発を行っていく予定である。

また、これまで宕陰地区との接点は越畑農事組合が中心であったが、今後は小中学校のイベント参加や宕陰自治連合会との連携などを通じて、地域の人々に必要と思われるプロジェクトとすることである。

